

「駅前街区をリノベーション！駅前広場を駅と街をつなぐ街の舞台に！！」

所在地：神奈川県横浜市旭区柏町

旭区人口：247,626人、(うち柏町：4,515人 (H30.4.30 現在))

駅名：南万騎が原駅 (横浜駅まで14分) 相模鉄道(株)

1日平均乗降人員：11,081人 (H28年度) 11,381人 (H29年度)

概要

南万騎が原駅の周辺エリアは、昭和51年の相鉄いずみ野線の開業に合わせて戸建て住宅を中心とした郊外型ニュータウンとして整備されましたが、約40年が経過した今、地域の生活満足度は高いものの、「住民の高齢化」「若年層の流出」「住居の経年劣化」などの課題も現れてきました。

そこで、相鉄ホールディングス(株)と横浜市は、そのような地域課題を解決し、地域の魅力をより高めていくため、2013年4月に、地域の方々や企業、大学、行政との協働による「相鉄いずみ野線沿線の次代のまちづくりの推進に関する協定」を締結し、「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市」の取組を進めています。

南万騎が原駅周辺エリアの具体的な取組としては、駅周辺に、商業施設のほか、介護・医療施設、子育て支援施設などを充実させ、若年層向け賃貸マンション、サービス付き高齢者向け住宅、分譲マンションを整備して、駅から離れた戸建て住宅に不便を感じるシニア層を駅近の集合住宅に誘引し、転居の住宅に若い世代を誘致することで、住宅地全体の再活性化を図り、将来にわたって街の活力を持続できる地域となることを目指しているそうです。

南万騎が原駅前の広場「みなまきみんなのひろば」は2015年に現在の形に整備されました。この広場は、駅と街を結ぶスロープを通し、その他の部分を棚田状の広場空間にして、座って休んだり、子供達の遊び場になったりと、多様な活動を同時に受け止める居場所とすることで、これまで以上に駅を「まちなかの居場所」として機能するよう工夫されています。2018年5月に視察した際には、複数の方が、座ってお話をする光景を見かけ、実際に地域の方々の交流の場になっていると感じました。また、視察を案内して頂いた方からは「隣駅の二俣川駅、緑園都市駅近辺の駐車場が立体駐車場となっているためか南万騎が原駅の駐車場を平場にしたことで、買い物などで駅を訪れるドライバーから「車を止めやすい」と好評です。」とのお話を伺いました。



### 【南万騎が原周辺エリアプロジェクトのあゆみ】

- 2010年9月 いずみ野線沿線駅前街区リノベーション計画始動
- 2013年4月 「横浜市環境未来都市計画」の主要な取組である「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」が  
始動
- 2016年10月 住まいの相談窓口「受付カウンター」「相談ラウンジ」開設
- 2017年3月～ 賃貸マンション入居開始(3月)、認可保育園開園(4月)、サービス付き高齢者向け住宅入居開始(7月)、  
デイサービス・訪問介護・看護事業所開業(8月)
- 2018年 ～ 学童クラブ開業(3月)、分譲マンション入居開始予定

### 【受賞歴等】

- 2014年1月 国交省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」に採択される
- 2015年10月 国交省「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」に採択される
- 2016年度 グッドデザイン賞を受賞、ウッドデザイン賞を受賞
- 2017年1月 よこはま多世代・地域交流型住宅認定制度の第1号に認定
- 2017年3月 第8回横浜・人・まち・デザイン賞を受賞

### 【視察受入】

マレーシア・セベランブライ市、内閣官房、国交省、東京都ほか全国の政令指定都市など

### 【事例に関する問い合わせ先】

国土交通省 関東運輸局 交通政策部 交通企画課 〒231-8433 住所：神奈川県横浜市中区北仲通 5-57 横浜第2 合同庁舎 17階 Email： <a href="mailto:ktt-ky-kikaku@ml.mlit.go.jp">ktt-ky-kikaku@ml.mlit.go.jp</a> 電話：045-211-7209 FAX：045-201-8807
相鉄ホールディングス株式会社 経営戦略室 ブランド戦略担当 〒220-0004 住所：神奈川県横浜市西区北幸 2-9-14 電話：045-319-2359 FAX：045-319-2269